

# 2020（令和2）年の大阪経済

## －大阪経済は4～6月期に急激に悪化－

商工労働部（大阪産業経済リサーチ&デザインセンター）は、府内の経済動向について四半期ごとに『おおさか経済の動き』としてとりまとめています。このたび、2020（令和2）年の年間の経済動向を『2020（令和2）年のおおさか経済の動き』として発行しました。その概要は以下のとおりです。

2020年の大阪経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言下の4～6月期に急激に悪化した。年後半は、緩やかな持ち直し基調となったが、新型コロナ感染者の増減に伴い、一進一退の動きであった。

生産は年前半に低下したものの、年後半は持ち直し基調となった。完全失業率は上昇基調で推移し、有効求人倍率が低下するなど、雇用は悪化に転じたが、10～12月期にやや持ち直した。

### 【目次】

#### 要約

#### 第1章 大阪経済は4～6月期に急激に悪化

1. 国内経済は4～6月期に急激に悪化
2. 大阪府の景気は急激に悪化した後、底ばい
3. 需要は低調に推移
4. 生産・雇用は4～6月期に悪化した後、年末にかけて緩やかに持ち直し
5. 企業活動は年前半に悪化した後、緩やかな持ち直し

#### 第2章 2020年の経済動向

##### 第1節 新型コロナにより消費を中心に需要が減退・

1. 個人消費は新型コロナで急激な落ち込み
2. 住宅投資は年間を通して前年同期比マイナスで推移
3. 民間設備投資は急減
4. 輸出入額は、2年連続の減少
5. 観光需要は新型コロナにより記録的な落ち込みに

##### 第2節 産業活動は4～6月期に急激に悪化

1. 生産活動は、年前半に大幅に低下し、年後半は反動増
2. 雇用は悪化に転じる
3. 新型コロナの影響により、消費者物価、企業物価はやや低下
4. 企業倒産件数、負債総額は、ともに減少

#### 第3章 2020年の企業動向

##### 第1節 企業の業況は失速から持ち直しの動きへ

1. 企業の業況はリーマン・ショック後を超える落ち込み
2. 営業利益は年前半に下落するも、後半に反転、資金繰りD Iも同様の傾向
3. 雇用不足感は大幅に緩和

##### 第2節 中小企業の業況は厳しい状況であるが持ち直しの動きもみられる

1. 出荷・売上高及び営業利益は4～6月期に悪化し、その後は持ち直した
2. 受注・販売は、年後半は持ち直しに転じたが需要停滞が大きな課題に

#### 主要経済指標